

北海道大学総務部広報課
〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目
TEL 011-706-2610 FAX 011-706-4870
E-mail: kouhou@jimu.hokudai.ac.jp
URL: <http://www.hokudai.ac.jp>

北海道大学スラブ研究センターグローバルCOEプログラム
「境界研究の拠点形成」：「雪まつり」ウィークエンド・セミナー
の開催について（お知らせ）

概要：

スラブ研究センターでは、北大総合博物館内のグローバルCOEプログラム「境界研究の拠点形成：スラブ・ユーラシアと世界」（拠点リーダー岩下明裕教授）の第2期展示企画として、2009年12月18日から2010年5月9日まで「知られざる北の国境」展を北大総合博物館2階で開催しております。

現在、1905年（明治38年）に樺太における日本とロシアとの国境を定めた「国境標石」や、山口県出身でシベリア抑留中の記憶を描いた香月泰男画伯の作品「業火」と木彫りの小作品（北海道をテーマに作った熊とアイヌ人形など）を展示しておりますが、これらの展示物に関連し、社団法人全国樺太連盟理事の工藤信彦氏、香月泰男美術館元館長の坂倉秀典氏をお招きし2月6日（土）及び7日（日）の2日間、「雪まつり」スペシャル・セミナーを北大総合博物館で、下記のとおり開催いたします。今では工藤氏のように「樺太」についてトータルに語り得る人は、ほとんど居りませんし、また、坂倉氏には香月泰男画伯のお人柄など画伯の知られざるエピソードを語っていただきますので、興味がつきないのではと考えております。報道各社におかれましては市民の皆様にお知らせいただきたく、よろしくご高配賜りますようお願い申し上げます。

「雪まつり」ウィークエンド・セミナー

◆ 2月6日（土）13時30分から15時まで

（土曜市民セミナー／シリーズ「知られざる北の国境」第4回）

講師：工藤 信彦 氏 （社団法人全国樺太連盟理事）

題目：浮游する樺太

◆ 2月7日（日）13時30分から15時まで

（日曜市民セミナー／シリーズ「知られざる北の国境」号外）

講師：坂倉 秀典 氏 （山口県長門市立「香月泰男美術館」元館長）

題目：命をかけた画家・香月泰男

※ セミナー会場は、総合博物館1階「知の交流」コーナーとなります。

北大総合博物館の開館時間は、午前10時から午後4時までとなっております。

お問い合わせ先

北海道大学スラブ研究センターグローバルCOE事務局 担当：岸田，合田，垣田
TEL:011-706-3307 FAX:011-706-4952 mail:gcoe-jimu@slav.hokudai.ac.jp